

# 南高図書館だより

2024年12月号  
浦和南高校図書館

## 図書委員のおすすめ本

NO  
IMAGE

### 『ようこそ実力至上主義の教室へ』

衣笠彰梧／著 KADOKAWA(MF文庫J)

この作品では進学・就職率ともに100%といわれる超名門校に入学した主人公(綾小路清隆)たちだったが、その実態は完全実力主義の高校であり、進路が約束されるのは最も成績の良い1クラスのみである上に、成績の悪い生徒は退学処分になってしまう。学校側から特別試験が課せられ、クラス対抗で争っていくことになる。

読んでみると、読者も手の上で踊らされてしまうような、小説で読むのにぴったりの作品です。

### 『ないものねだりの君に光の花束を』

汐見夏衛／著 KADOKAWA

全てにおいて普通で自身を「永遠の脇役」だと思っている影子は、学校に通いながらアイドルをやっている真昼を「永遠の主人公」と思っていた。勉強や性格も完璧な彼に羨ましさを感じながら距離をとりたかった影子だが、たまたま一緒に図書委員をやることになり、誰も知らない彼の陰の一面を知ることになる。特別な人間だからこそその苦勞を知り、二人は仲良くなっていくが...

章ごとにいろんな展開があって感動する作品です。

NO  
IMAGE

### 『変な家2 11の間取り図』

雨穴／著 飛鳥新社

以前『変な家』を執筆した筆者雨穴。『変な家』は大きな反響を呼んだ。すると全国からさまざまな『家』の情報が寄せられた。計11個の『家』の情報は一見無関係に見えたが、注意深く見るとある一つの繋がりが... 雨穴と設計士栗原が謎に立ち向かっていくミステリー小説です！



## 図書館からのお知らせ

◆イベントのお知らせ◆

### 冬の読書キャンペーン2024

南高図書委員会企画

2024年12月16日(木)～2025年1月24日(木)

2024年11月25日(土)～2025年1月24日(木)

2024年12月18日(土)～2025年1月24日(木)

図書委員が作ったポップアップポップ

先着順・転売禁止 雑誌リサイクル

雑誌25誌&付録

次は何を読む？

借りるともらえる 選べるしおりとブックカバー

しおりは6種類、ブックカバーは3種類。地学部が撮影した写真も入っています。

例... 土星しおり(撮影場所:南高天文台)と早朝の空ブックカバー(撮影場所:南高屋上)の組み合わせ

組み合わせ自由!

◆図書委員会活動報告◆

### 施設見学会を実施しました

期末考査最終日の12月12日(木)、図書委員の施設見学会を実施しました。行き先は「うらわ美術館」と「須原屋書店本店」です。美術館で「THE 新版画」展を鑑賞して担当学芸員から話を伺ったあと、書店へ移動し、南高図書館に新しく入れる本を図書委員が選びました。図書委員が選んだ本は、2月頃貸出できる予定です。お楽しみに！



美術館で学芸員の話をお聞きしました



図書館に入れる本を選びました



「THE 新版画」展入口にて



知識の本

外国語を届ける書店

白水社編集部／編 白水社

外国語の原書が買える専門書店があることを知っていますか。この本では9つの外国語専門書店(フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、中国語、トルコ語／アラビア語、韓国語)を取材して、その言語の学習者だけではなく、そのことばを愛する人に本を手渡すという、外国語と読者をつなげる書店員の声を記録しています。各言語の学習者におすすめの本のリスト付。

楽しく学べるはにわ図鑑

かみゆ歴史編集部／編 朝日新聞出版／編著 朝日新聞出版

古墳時代の人々の姿を私たちに伝えるはにわ。人物、動物、家や武器などを表した、国宝・重要文化財のはにわを紹介する。はにわや古墳の基礎知識、はにわQ&A、はにわに会える博物館(「埼玉県立さきたま史跡の博物館」など)も掲載。目指せ、はにわマスター!

どうしても僕は東京藝大に入りたかった 3度目の挑戦でつかんだ合格までの記録

家原流太／著 角丸つばら／編集 ホビージャパン

2024年10月現在、東京藝術大学美術学部デザイン科4年生に在学中の大学生による、三浪した藝大受験の記録。普通科高校から一般大学に進学したが、そこを休学、東京藝大を目指し、合格するまでの二年半の過程を物語形式で描いている。初心者が美術予備校でひたすら練習し思考し続け、藝大合格レベルになるまでを、当時の作品も豊富に掲載。「唯一藝大受験に必要な才能」があるなら、「7時間椅子に座って絵を描き続けることができるかどうか」(P156)。入学する学生の約7割が浪人を経験するという東京藝大。藝大受験の世界の光と影を知りたい人に。

胸はしる更級日記

小迎裕美子／著 菅原孝標女／著 赤間恵都子／監修 KADOKAWA

「はしる」とは、ワクワク、という意味で「はしるはしる」と2つ重ねた言葉は菅原孝標女オリジナルの言葉だそう(P12)。この言葉のとおり情熱が暴走する前半の「源氏物語」尊し!」のキラキラ少女時代から、後悔と懺悔の日々を送る晩年までを回想し綴った菅原孝標女の「更級日記」をマンガで紹介する。巻末に原文付き。

もっと知りたい川瀬巴水と新版画

滝沢恭司／著 東京美術

浮世絵版画という木版特有の日本の伝統美の上に大正・昭和の近代美が加わった「新版画」。代表的な画家・川瀬巴水をはじめ、版元・渡邊庄三郎、新版画を制作した日本人画家・外国人画家をとりあげ、その魅力を紹介する。現在うらわ美術館で「THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦」展が開催中(会期:2024年11月16日(土)~2025年1月19日(日))。興味のある人はぜひ。

世界はラテン語でできている

ラテン語さん／著 SBクリエイティブ

メルカリ、ベネッセ、アシックスはラテン語由来!? 欧米の言語のみならず、現代日本にも強い影響を持つラテン語。ラテン語と人類、2000年超の歩みを眺めながら、ラテン語の魅力を紹介する。ヤマザキマリとの対談も収録。

小説・文学

禁忌の子 We were born

山口未桜／著 東京創元社

2024年第34回鮎川哲也賞受賞作。著者のデビュー作にして、既にシリーズ化が決定している医療×本格ミステリもの。救急医の武田のもとへ搬送されてきた身元不明の溺死体「キュウキュウ十二」は、武田と瓜二つだった。この遺体は誰か、自分との関係は何なのか、旧友で医師の城崎と協力して自らのルーツの調査を始める武田だったが、新たな事件に巻き込まれてしまう。

街角ファンタジア

村山早紀／著 実業之日本社

失恋したての青年・淳は、ひとりで迎えたクリスマスイブにふと、昔アルバイト先の店長に言われた「淳くんは魔法に守られて幸せになる。優しい心の持ち主を守る魔法はたしかに存在するんだよ」という言葉を思い出す。本当にそんな魔法はあるのだろうか…。亡き祖父を想う少女、行き詰まったイヤミス作家、不器用な本好きの少年、未来が不安な女性ライター…。街の片隅で暮らす人々の心の傷が癒やされていく全5話。『Webジェイ・ノベル』掲載に加筆修正。

小鳥とリムジン

小川糸／著 ポプラ社

家族に恵まれず、生きる術も住む場所もなかった女性・小鳥。18歳の時から介護していた、父親と名乗る「コジマさん」が亡くなった日、ずっと心惹かれていたお弁当屋さんのドアを開けて…。心と体を取り戻す、いとおいしい物語。

返し忘れの本、ありませんか？

学期末です。

返却期限が過ぎたまま 返し忘れている本は

ありませんか。

心当たりのある人は きちんと返却して

気持ちよく冬休みを迎えましょう!